

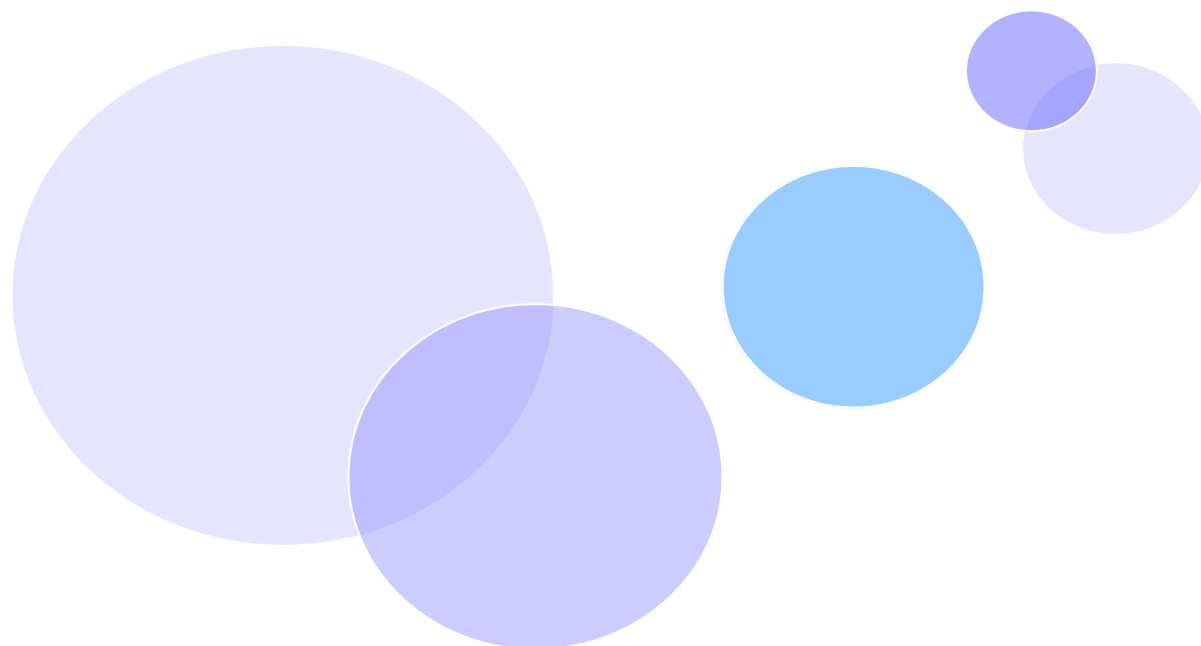


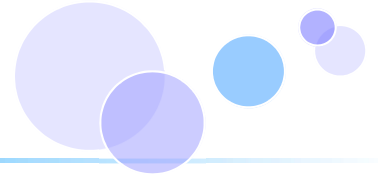
日本ヒューム株式会社

2020年3月期 決算説明資料

2020年5月27日

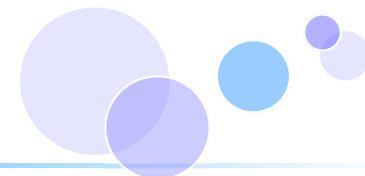
証券コード 5262
東証一部





1. 2020年3月期業績説明
2. 2021年3月期業績予想
3. 各事業における取り組み状況
4. 株主還元の様況

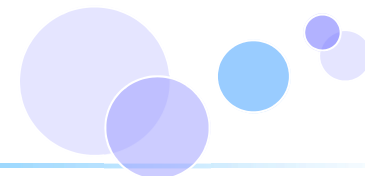
当社の新型コロナウイルス感染症対策



安全確保の上、業務推進体制を構築済

- 在宅勤務（テレワーク）、時差出勤の実施
- オンライン会議対応（Zoom）
- 出社前の検温徹底、記録
- グループウェアの積極的活用

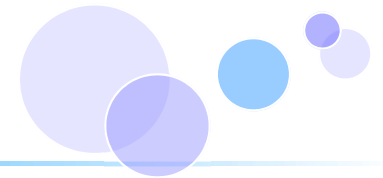
新型コロナウイルス感染症拡大の影響が今後どのように推移していくか現時点では予想しがたいですが、安全を確保の上、事業を継続して参ります。



1. 2020年3月期業績説明
2. 2021年3月期業績予想
3. 各事業における取り組み状況
4. 株主還元状況

1. 2020年3月期業績説明

日本ヒュームグループの事業概要



- 「社会基盤の整備に参加し、豊かな人間環境づくりに貢献する」を理念とした企業活動
- 連結子会社：9社、持分法適用関連会社：6社を含むグループで社会基盤の整備に貢献

下水道関連事業

- ヒューム管、セグメントなどコンクリート製下水道関連製品の製造
- PGF、壁高欄などコンクリート製道路関連製品の製造
- 下水道関連の工事（管渠更生など）

<連結子会社>

- ・ 東邦ヒューム管株式会社
- ・ 日本ヒュームエンジニアリング株式会社

太陽光発電・不動産事業

- 不動産の賃貸、管理及び開発
- 環境関連機器の販売及びメンテナンス

<連結子会社>

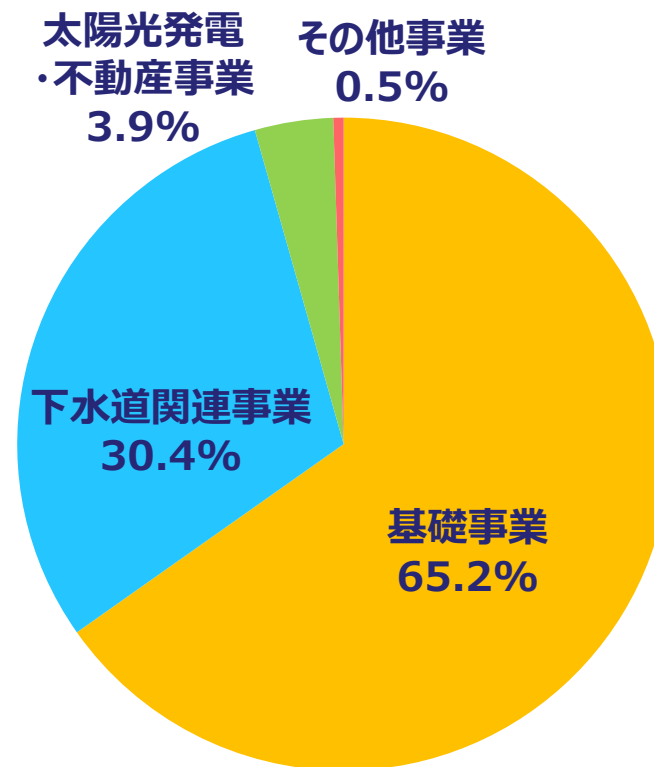
- ・ 株式会社環境改善計画
- ・ 株式会社ヒュームズ

環境・衛生システム(コンサル)

株式会社環境改善計画

- オゾン脱臭システム
- 環境（空気・水等）の浄化システム
- 環境・衛生コンサルティング

売上構成(2020年3月期) 連結売上高：35,051百万円



基礎事業

- コンクリートパイルの製造・販売
- コンクリートパイルの施工
- PCウェルの製造
- コンクリート製品用型枠の販売
- コンクリート製品用資材の販売

<連結子会社>

- ・ 技工曙株式会社
- ・ 株式会社エヌエイチ・フタバ
- ・ ニッポンヒュームインターナショナルリミテッド 他海外2社

鉄工・鉄筋

技工曙株式会社、株式会社エヌエイチ・フタバ

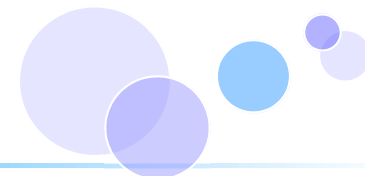
- 管路用・基礎用製品の型枠、及びその周辺部品

その他事業

- レンタル事業
- スポーツ施設運営事業

1. 2020年3月期業績説明

① 2020年3月期業績総括 (連結)



連結業績短評

● 4期連続増益 (経常利益・当期純利益(※))

売上高

連結売上高 35,051百万円 前期比 △ 2,963百万円 △ 7.8%	基礎事業	22,862百万円	△3,213百万円 △ 12.3%	● 全体需要減に伴い減収
	下水道関連事業	10,650百万円	+ 313百万円 + 3.0%	● 防災関連製品の堅調推移で増収
	太陽光発電・不動産事業	1,360百万円	△ 44百万円 △ 3.1%	
	その他事業	178百万円	△ 20百万円 △ 10.2%	

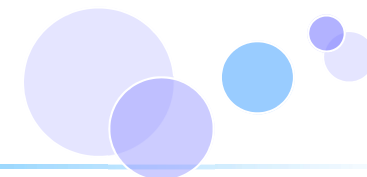
営業利益

連結営業利益 1,811百万円 前期比 + 140百万円 + 8.4%	基礎事業	911百万円	△ 284百万円 △ 23.8%	● 需要減に伴う競争激化により減益
	下水道関連事業	1,519百万円	+ 333百万円 + 28.0%	● 高付加価値製品(防災)の堅調推移による増益
	太陽光発電・不動産事業	743百万円	△ 82百万円 △ 9.9%	
	その他事業	45百万円	△ 10百万円 △ 19.0%	

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

1. 2020年3月期業績説明

② 連結損益計算書



(単位：百万円、%)

	実績						コメント
	2019年3月期		2020年3月期				
	金額	構成比	金額	構成比	前期比		
					増減額	増減率	
売上高	38,015	100.0	35,051	100.0	△2,963	△7.8	基礎事業の需要減に伴う減収
営業利益	1,670	4.4	1,811	5.2	+140	+8.4	選別受注や原価改善活動で利益率向上
経常利益	2,579	6.8	2,642	7.5	+62	+2.4	3期連続増益
当期純利益(※)	2,053	5.4	2,105	6.0	+51	+2.5	
減価償却費	657	—	670	—	+12	+1.9	
設備投資費	1,158	—	834	—	△324	△28.0	

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

1. 2020年3月期業績説明

③ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

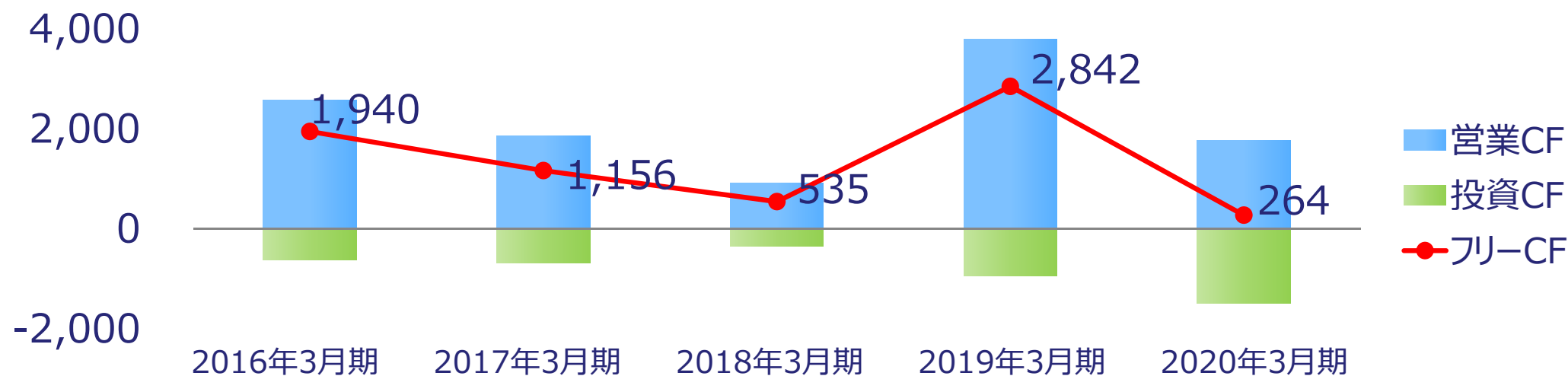
	2019年3月期	2020年3月期		2019年3月期	2020年3月期
流動資産	26,385	25,369	流動負債	13,571	12,297
(現金及び預金)	11,051	10,376	(短期借入金)	1,230	944
(棚卸資産)	2,558	2,952	固定負債	3,706	3,522
固定資産	22,960	23,609	負債合計	17,277	15,819
(有形固定資産)	9,228	9,265	株主資本	31,203	32,582
(無形固定資産)	101	119	(自己株式)	△1,910	△2,073
(投資その他の資産)	13,630	14,223	純資産合計	32,068	33,159
資産合計	49,345	48,978	負債・純資産合計	49,345	48,978

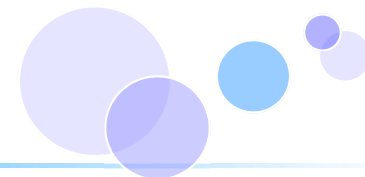
1. 2020年3月期業績説明

④ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

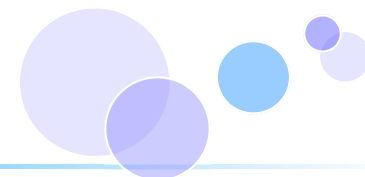
	2019年3月期	2020年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,793	1,760	△2,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	△950	△1,496	△545
財務活動によるキャッシュ・フロー	△598	△945	△346
現金及び現金同等物の期末残高	11,010	10,333	△676





1. 2020年3月期業績説明
- 2. 2021年3月期業績予想**
3. 各事業における取り組み状況
4. 株主還元の様況

2. 2021年3月期業績予想



業績見通し

- 民間投資下振れリスクがある中、基礎事業では公共構造物や物流倉庫関連で、下水道関連事業では引き続き防災関連の高付加価値製品で売上を見込む
- また、新型壁高欄を始めとした道路関係製品の売上を見込む

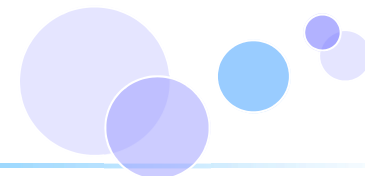
数値予想

	2020年3月期		2021年3月期			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	
					増減額	増減率
売上高	35,051	100.0	34,000	100.0	△1,051	△3.0
営業利益	1,811	5.2	1,700	5.0	△111	△6.1
経常利益	2,642	7.5	2,450	7.2	△192	△7.3
当期純利益(※)	2,105	6.0	1,800	5.3	△305	△14.5

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円、%)

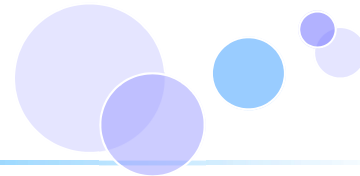
(注)新型コロナウイルス感染症拡大による影響が今後どのように推移していくかは現時点で予想しがたく、発表した数値の変更が必要となる場合には速やかに開示致します。



1. 2020年3月期業績説明
2. 2021年3月期業績予想
- 3. 各事業における取り組み状況**
4. 株主還元の様況

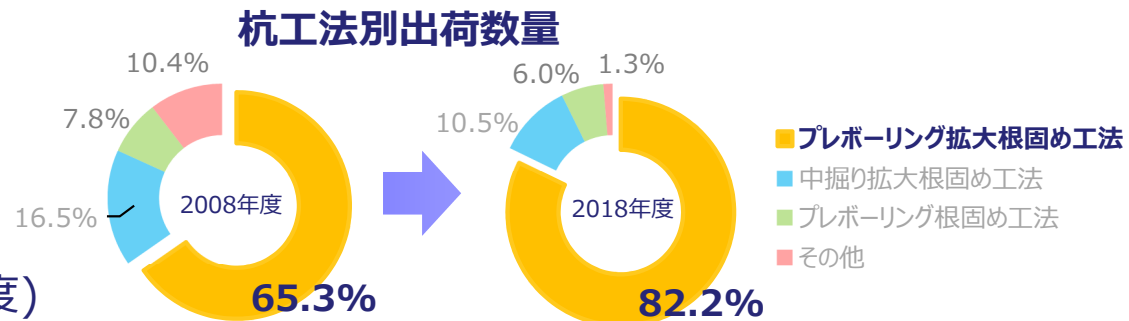
3. 各事業における取り組み状況

基礎事業における取り組み状況



業界背景

- プレボーリング拡大根固め工法による、業界全体の杭施工割合は、ここ10年で約17%^(※1)増加
(※1) 65.3%(2008年度) ⇒ 82.2%(2018年度)



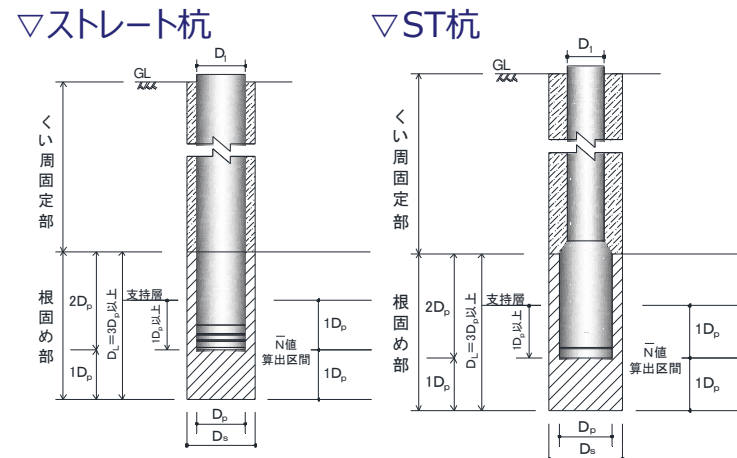
(出典：(一社)コンクリートパイル・ポール協会資料より算出)

日本ヒュームグループの取り組み

- 今期市場投入予定の新工法でシェア拡大を狙う
(プレボーリング拡大根固め工法)

【新工法概要】

- ・国土交通省大臣認定取得申請済(2020年6月取得予定)
- ・プレボーリング拡大根固め工法で業界トップクラス^(※2)の支持力
(※2)当社調べ、ストレート系



$$Ra = \frac{1}{3} \{ \alpha \bar{N} A_p + (\beta \bar{N}_s L_s + \gamma \bar{q}_u L_c) \psi \} \text{ (kN)}$$

α：杭先端支持力係数 (最大：405)

3. 各事業における取り組み状況

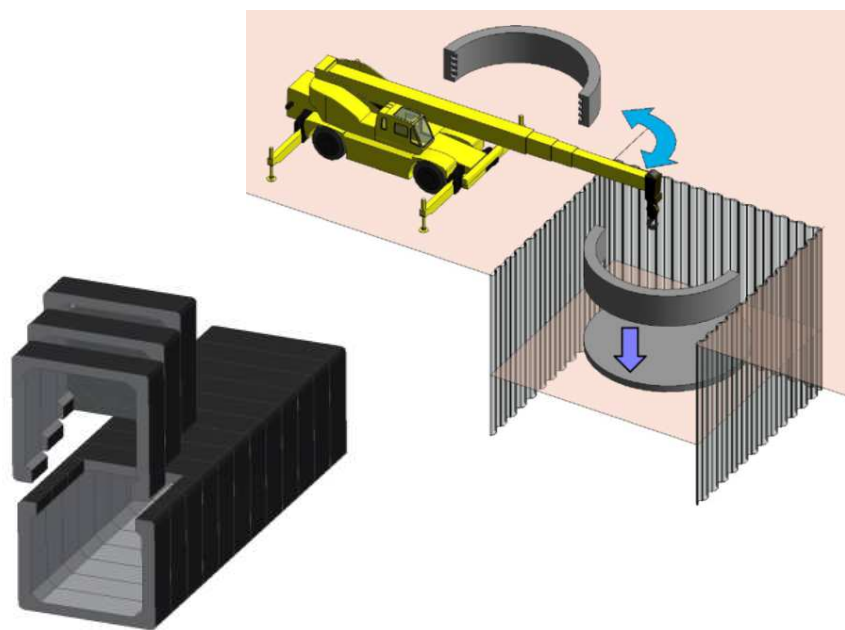
BIM/CIMの取り組み状況

業界背景

- 国土交通省のi-Construction、DX、Society5.0等今後予測されるデジタル化対策として、3次元モデルの導入が加速



日本ヒュームグループの取り組み

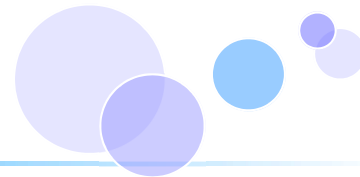


- 技術者教育、設計ソフト(※)をはじめとした環境整備済（BIM/CIMに対応済）
- 施工シミュレーションや製品搬入方法を3D図面・動画で説明、効率化を提案

(※) Autodesk Inventor、Revitに対応

3. 各事業における取り組み状況

浸水対策事業の取り組み状況

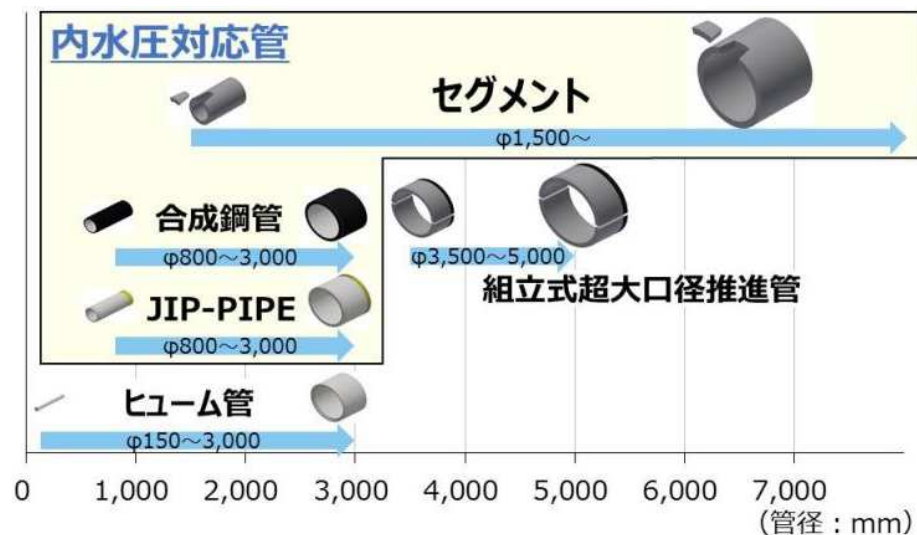


業界背景

- 気候変動がもたらす集中豪雨対策として、全国各地で浸水対策事業が拡大

日本ヒュームグループの取り組み

- 多彩な製品群でのソリューション提供
(高水圧や大深度、急曲線に対応する高付加価値製品の設計・製造)



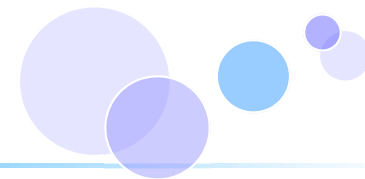
浸水対策事業で使用される当社製品群



雨水貯留管：合成ボックスカルバート（東京都内）

3. 各事業における取り組み状況

道路更新事業の取り組み状況



業界背景

- 道路インフラの老朽化拡大

日本ヒュームグループの取り組み

- 新型壁高欄の市場投入、実物件採用
- 規格品に限らず、現場条件に応じた個別設計プレキャスト製品を市場提供



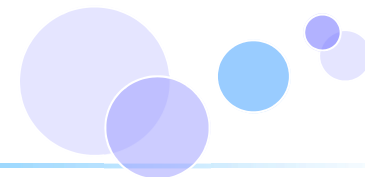
新型壁高欄（実験映像URL：https://youtu.be/M1n4cHk_xM8）



特注品事例：道路橋台

3. 各事業における取り組み状況

環境対策、鉄工事業の取り組み状況



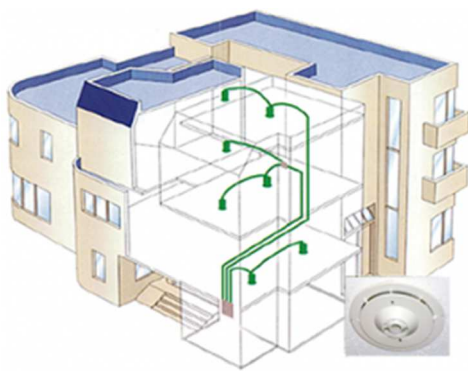
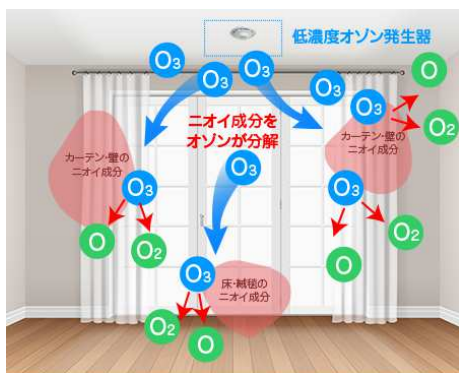
環境対策事業の取り組み

業界背景

- 「ニオイをなんとかしたい」消臭需要
- 消毒・殺菌製品への注目度向上

環境改善計画(日本ヒュームグループ)の取り組み

- 水処理、殺菌に有効なオゾン(※)関連製品の販売
- 病院、老人ホーム等でのオゾン脱臭システムのコンサルティング



(※)濃度、環境によって効果が変わります

鉄工事業の取り組み

業界背景

- 生産設備の更新ニーズ
- エネルギー関連設備の需要

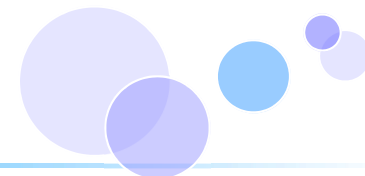
技工曙、エヌエイチ・フタバ(日本ヒュームグループ)の取り組み

- 建設資材、プラント・タンク等の製造・販売
- コンクリート2次製品向け金属製品の製造・販売



3. 各事業における取り組み状況

中期経営計画における各戦略の実施状況

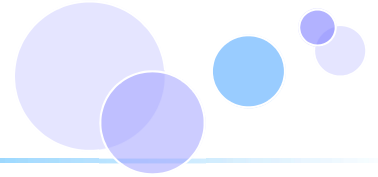


経営基盤強化戦略

中期経営計画		ESG経営			
基本戦略		E	S	G	実施状況
③ 現場力の強化					
OJTの実施、働き方改革の推進			●		外部コンサルタントによる改善活動導入
⑤ 計画的な人材育成、教育の強化					
系統的な教育の実施、メンター制度の導入			●		若年層(~10年次)育成システム導入

競争力向上戦略

① 生産設備の戦略的な改善					
生産・施工現場における安全性の向上			●		積荷検査のシステム化による効率化
③ 次世代生産管理設備、工事管理設備の戦略的な取り組み					
生産・施工現場におけるICT・IoTの導入			●		ICTによる製造管理の効率化



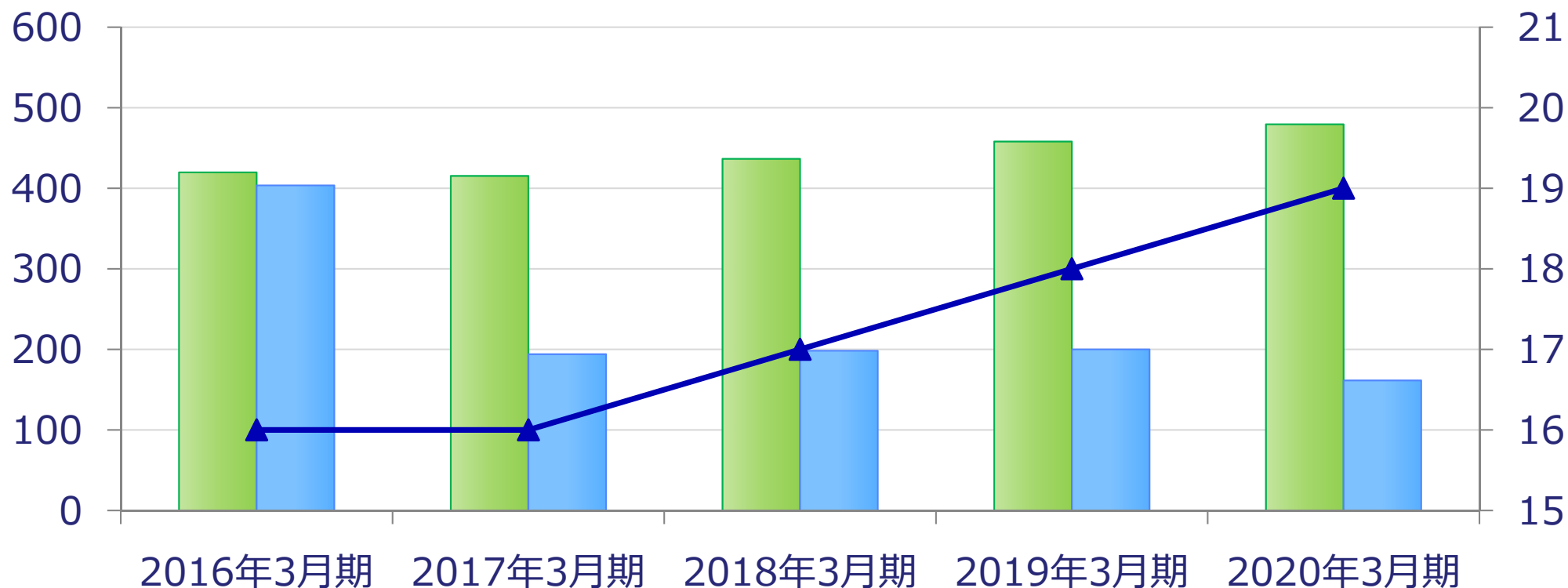
1. 2020年3月期業績説明
2. 2021年3月期業績予想
3. 各事業における取り組み状況
4. 株主還元の様況

4. 株主還元の様況

配当及び自己株式の取得状況

- 2020年3月期は、期初の予定通り19円の配当（昨年比+1円）
- 2021年3月期も同額配当、自己株式取得予定

(単位：百万円) 配当総額 自己株式取得額 ▲ 1株当たり配当額(右軸) (単位：円)



配当性向	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
	22.9%	29.3%	25.7%	21.7%	22.1%



NIPPON HUME
Group

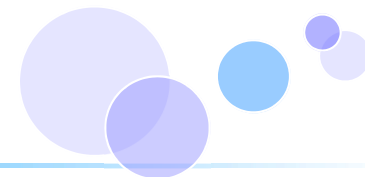
【将来に関する記述等について】

本資料は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

今後、実際の業績は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況や地価の変動の他、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

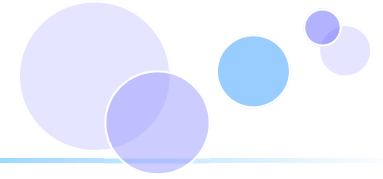
【数値表記について】

百万円未満は切り捨てで表示しております。そのため、一部合計数値が一致しないところがございます。

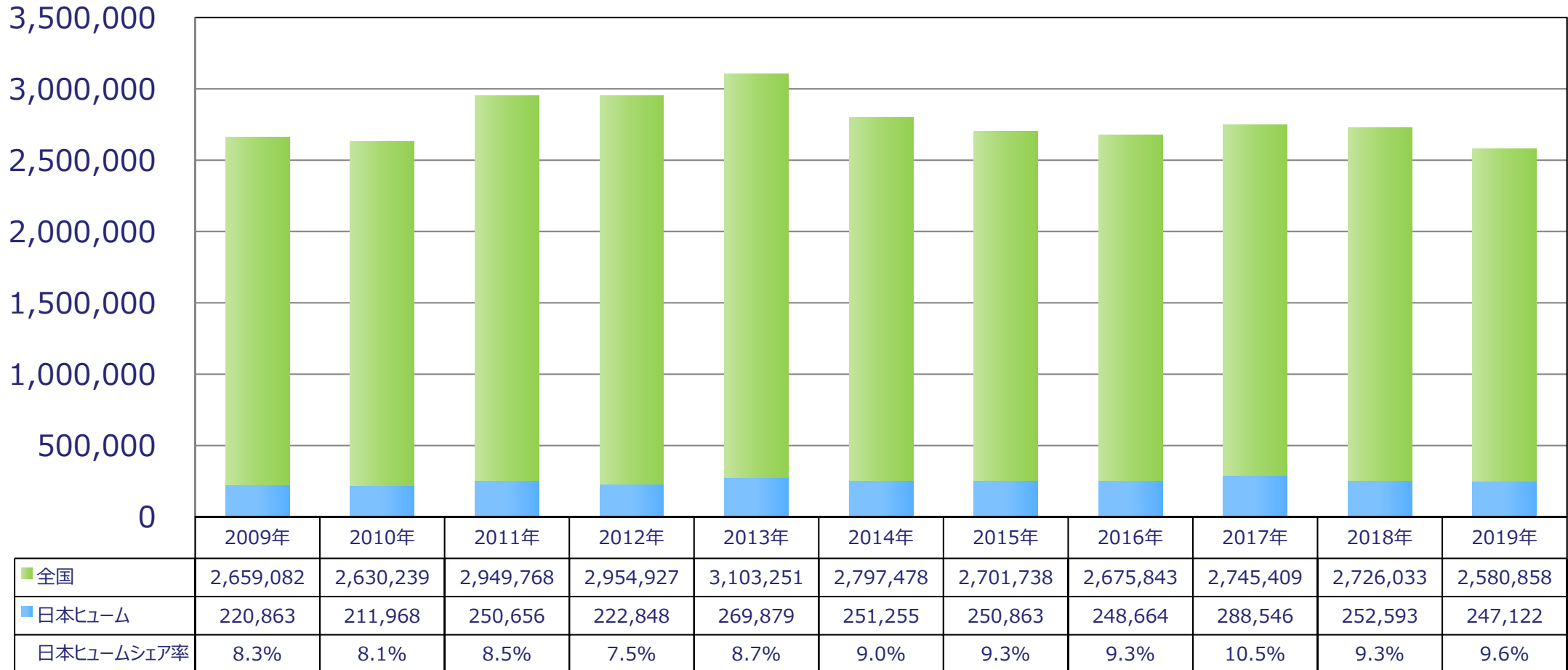


参考資料

業界データ（基礎事業）：パイル需要推移



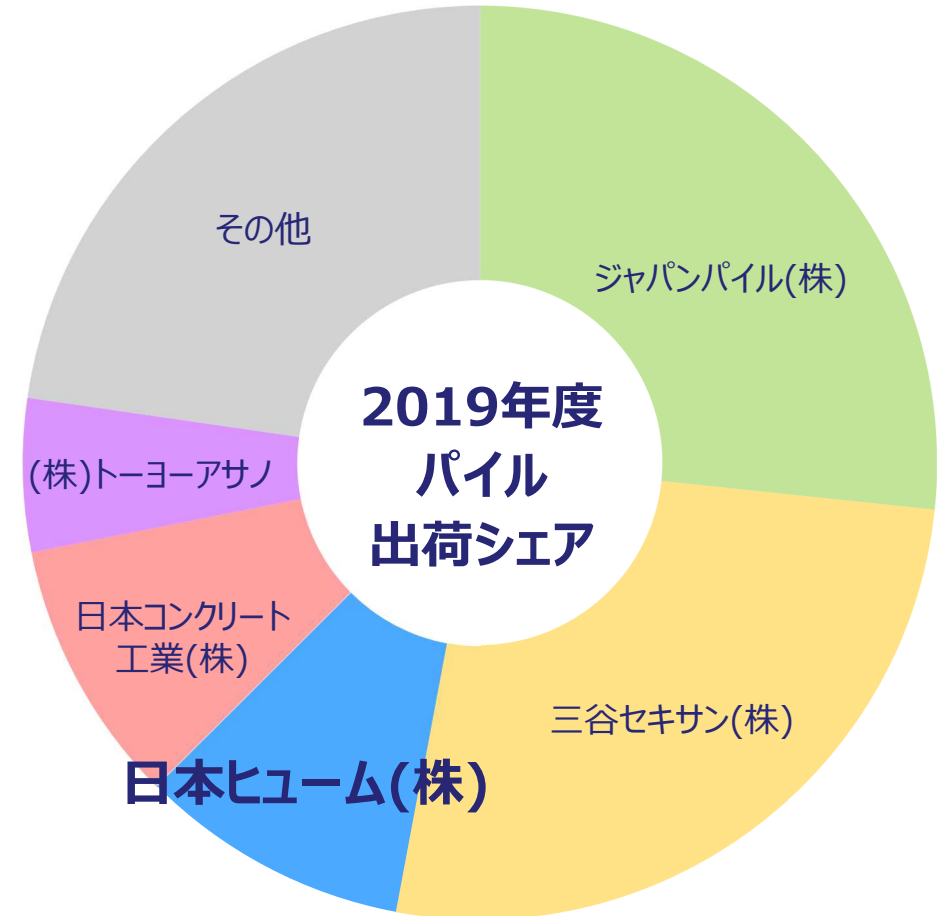
(単位：ton)



(出典：コンクリートパイル・ポール協会資料より算出)

業界データ（基礎事業）：2019年度パイル出荷実績

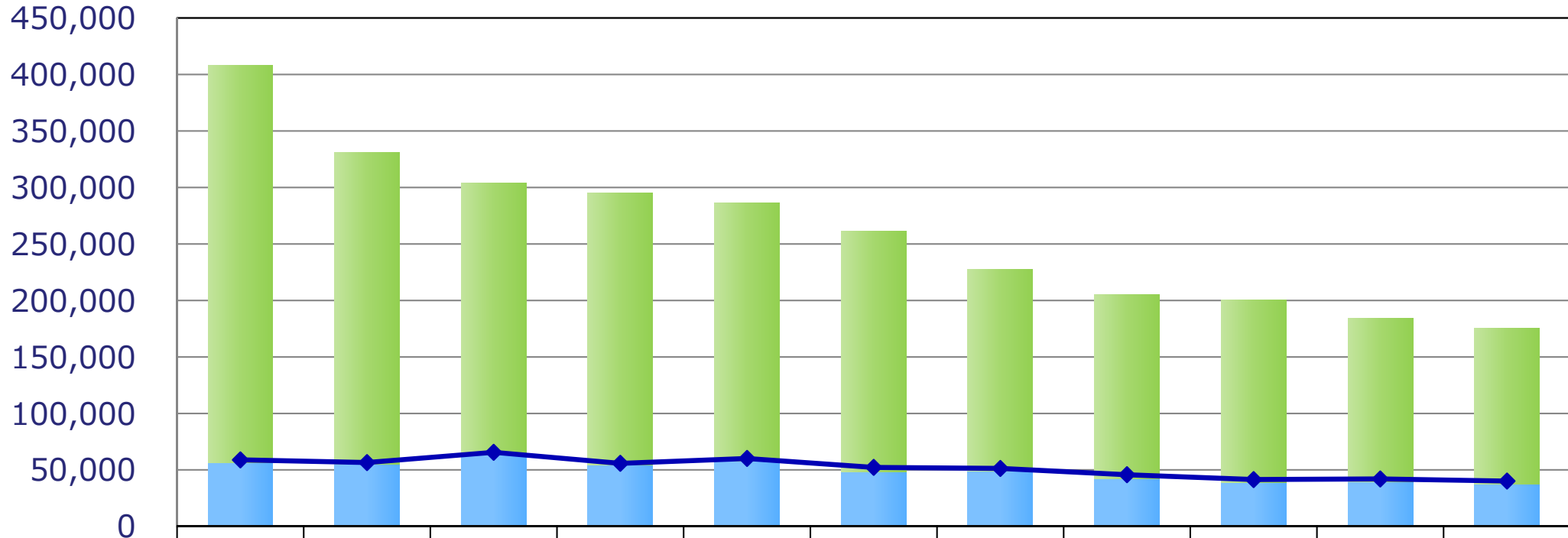
	会社名	出荷量 (ton)	シェア	前年 同期比
1	ジャパンパイル(株)	688,196	26.7%	+4.0%
2	三谷セキサン(株)	678,277	26.3%	+2.9%
3	日本ヒューム(株)	247,122	9.6%	+0.3%
4	日本コンクリート工業(株)	241,282	9.3%	-2.9%
5	(株)トーヨーアサノ	139,802	5.4%	-1.0%
6	前田製管(株)	101,479	3.9%	-0.0%
7	マナック(株)	70,079	2.7%	-1.2%
8	日本高圧コンクリート(株)	59,160	2.3%	-0.5%
	その他	355,461	13.8%	-1.6%
	合計	2,580,858	-	-



(出典：コンクリートパイル・ポール協会資料より算出)

業界データ（下水道関連事業）：ヒューム管需要推移

(単位：ton)

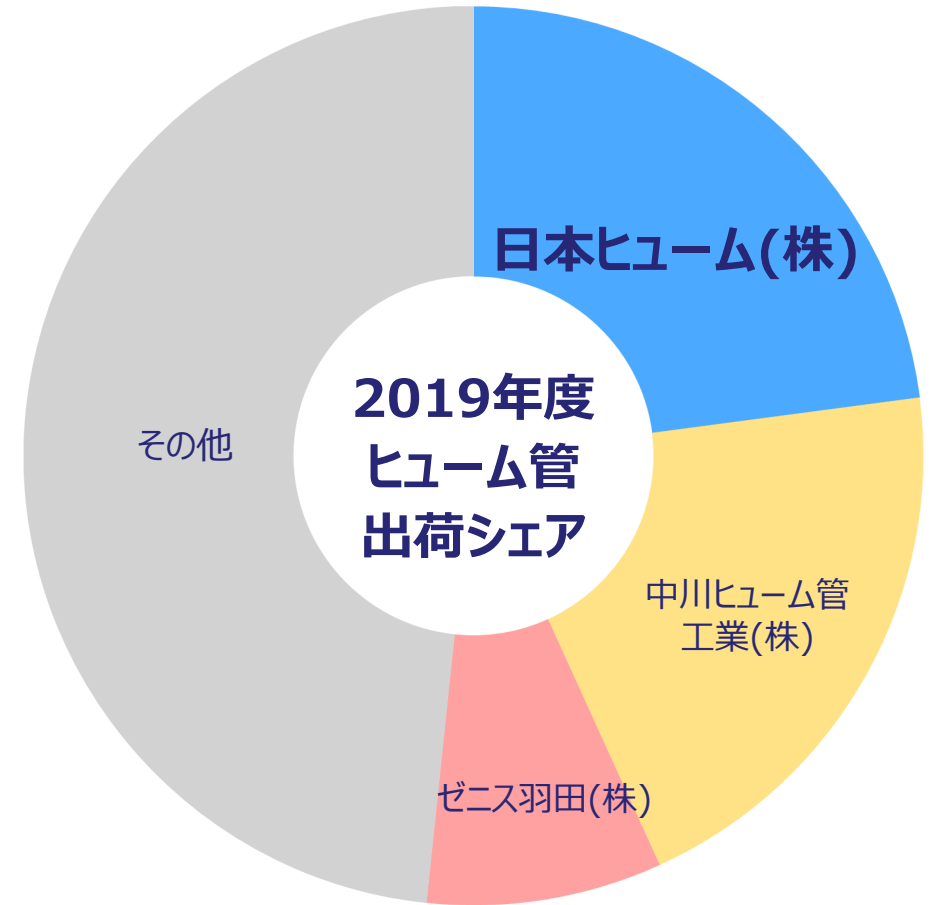


■ 全国	408,163	330,705	303,686	295,288	286,538	261,630	227,203	204,896	200,138	184,450	175,235
■ 日本ヒューム	55,713	54,053	62,747	53,571	57,073	47,440	48,143	41,716	37,864	38,818	36,941
◆ 日本ヒュームGr	58,888	56,513	65,560	55,802	60,135	52,219	51,315	45,747	41,480	42,023	40,148
日本ヒュームGrシェア率	14.4%	17.1%	21.6%	18.9%	21.0%	20.0%	22.6%	22.3%	20.7%	22.8%	22.9%

(出典：全国ヒューム管協会資料より算出)

業界データ（下水道関連事業）：2019年度ヒューム管出荷実績

	会社名	出荷量 (ton)	シェア	前年 同期比
1	日本ヒューム(株)	40,148	22.9%	+0.1%
2	中川ヒューム管工業(株)	35,557	20.3%	+1.7%
3	ゼニス羽田(株)	14,829	8.5%	-2.4%
	その他	84,701	48.3%	+0.6%
	合計	175,235	-	-



※日本ヒューム(株)の数値は、持分法適用会社である
東京コンクリート工業(株)（株式40%保有）の数値を含みます
（出典：全国ヒューム管協会資料より算出）